

## 茂原市学校再編に関する住民意見交換会 議事録

### 【新治小学校】

○ 日 時：令和3年5月11日（火）19：00～20：50

○ 場 所：新治小体育館

○ 参加者：40名

・審議会委員 2名

・事務局 16名

教育長	内田 達也
教育部長	中村 一之
教育部次長（教育総務課長）	佐久間 尉介
学校教育課長	金澤 勤
学校教育課主幹	宮内 智之
教育総務課長補佐	小安 宏尚
教育総務課学校再編推進室長	大橋 康博
教育総務課総務係長	吉野 司
教育総務課学校再編推進室主査	石田 卓也
教育総務課学校再編推進室主事	紺野 晃弘
教育総務課学校再編推進室	深山 秀樹
教育総務課学校再編推進室	狩野 久志
防災対策課長補佐	中村 敬紀
企画財政部次長（企画政策課長）	木島 成浩
土木建設課長補佐	細谷 明弘
土木管理課用地管理係長	関 友和

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 茂原市の学校再編について 事務局にて資料に基づいて説明

4 意見交換

（以下、意見交換）

住 民 新治小学校の歴史から追って質問するが、1800年代に常泉桃村が柴名において、近在の子弟教育に三畏塾を開設。明治6年柴名蓮華寺に柴名学校、新治小学校の前身を開かれた。明治10年柴名学校を下太田の万光寺に移転し、明治11年万光寺から現新治小学校に移転された。新治小学校は、歴史上にも名を残す偉大な法学博士、鶴澤總明先生の母校である。博士は、初代明治中学校の校長、明治大学の総長を歴任、弁護士として、極東国際軍事裁判東京裁判で日本側弁護団団長を務め上げたなど、日本歴史上、その名を轟かせている。新治はもとより、茂原市として誇りであり、後を継ぐものとして、歴史文化の大切さを継承し、今こそ顕彰すべきと思うが、茂原市教育委員会は

教育歴史の大切さをどのように認識されているのか、お聞きしたい。

佐久間次長 冒頭鶴澤總明先生のお話があったが、確かに新治小にこういった（歴史的な）背景があるということは存じている。

ただ、教育委員会としては、現在の子供たちの教育環境を第1に最優先にしたいと考えている。

住 民 前回、令和3年の1月と2月に、緊急事態宣言が発令され中止となったが、今回の方が、コロナの発生率がすごく多いような感じがするが、これ、いかなる問題か。後で答えていただきたい。

今の答弁を伺い安堵しているが、ともすれば教育の大切さ、歴史の重さを、愛すべき郷土を子供たちに教え、伝え生まれ育った歴史を大切にする方策をとるべきである。私は、茂原市教育委員会のやり方に呆れているが、もう一度、市政運営と合致した議論をすべきだと思うが、考え方を伺いたい。

大橋室長 緊急事態宣言に伴い説明会を中止した部分について、前回の緊急事態宣言は、緊急事態であるということであり、人を集めることは難しいとの判断をした。今回は、まだ緊急事態宣言には至ってないことが一つ。そして、会場を見直しし、椅子と椅子の距離を1.5（m）ほど保ち、入口等で検温その他記載をしてもらい、名簿を作成するような形で徹底し、開催ができるという判断をした。

佐久間次長 新治の歴史の継承ということであるが、この後、新たに行う「茂原学」というような形で茂原の地域の伝統等を学習していくことも郷土愛を育むことと考えている。

住 民 このようなコロナの発生の中で、密を避けて5人以上は飲食をしちゃいけない。そういう中で、このように大勢の人を集めてやるのはちょっとおかしと思うが、どのような判断でやっているか。

大橋室長 まず、会場、定員の2分の1を確保し、それ以内であればとの基準があり、かつソーシャルディスタンスを確保できるかというところを、今回は徹底させていただいた。また飛沫防止の対応として、質問回答等のやり方も変えさせていただいた。このような方法による体制をとったものである。

住 民 統合ということは、私は決して反対じゃない。本納中学校の隅っこで、環境の悪い、水害が多い、鉄道電車の騒音もある中で、あそこに建てたのかということである。新治、ここへ来ればここで校舎を建てて、3校が統合するのであれば、私は理解できる。こういう新治、環境の良いなんの心配もないところ。これをさておき、ああいうところに建てるのが、私は理解できない。その辺を説明していただきたい。

佐久間次長 新校舎については、過去立地場所を探してきた経緯があるが、なかなか良い場所が見つからなかった。その後に本納小学校の裏の崖が、土砂災害の警戒区域の指定を受けるといった運びになった。そこから小学校のPTAの皆様から、一刻も早く、あそこの小学校から移転させてほしいと。その中で本納中学校の空き教室を利用しながら、新校舎を建ててというようなお話をいた

だき、教育委員会で策定していた計画と合うところがあり、進めさせていただいた。騒音対策としては、線路側のところには、あまり窓を作らずに遮断できるような形をとっている。また校舎の高さ（床）についても現存の本納中学校と同じ高さにしており、過去にも水害にあったというようなことはない。そういう対応をした。

住 民 対策はしてあるが、新治という良い場所をさておいて、なぜあの場所に建てたのか。（新治は）広くて校舎だって建てられ、騒音対策とかしなくてもいいと思う。新治に行く選択肢はなかったのか。

大橋室長 まず、校舎の位置を新治の方へとの話であるが、校舎の位置を考えたときに、将来的に3校が統合するという方向性があった。本納中は先ほどの13ページの資料でも、この本納地域のほぼ中央に位置している。通学等の児童の負担等を考えたときに、中心部、ほぼ中央部に移動するようなことを想定した中で、第一次計画では、本納中付近を中心に、場所を選択するような形となっている。それが場所として位置付けたところになる。

住 民 納得できない。こんな良い新治の地に目を向けなくて、あの場所に校舎を建てるのは理解できない。それと本納中のアンケートであるが、本納中の生徒が統合するのに、反対意見が賛成意見の2倍と聞いた。このアンケートの結果を、生徒の意見を無視しているのではないか。

金澤課長 昨年の8月に、本納中学校の生徒の方に、（小学校の）子供たちが本納中学校の敷地内に移転してくることについてどのように思うか、アンケートをとらせていただいた。賛成の意見。例えば、一緒に行事ができたりして、とても楽しみであるという意見があったり、逆の反対の意見もあった。反対の意見のいちばん多かったのは、特に受験等が中学生はあるので、校舎を近くに建てるとなると、騒音等で受験勉強等もちょっと心配であるという意見が非常に多くあった。総合的には、ちょっと反対の方の子供の数が多かったと、記憶しているが、その工事に関する不安であるとかが非常に多く、そういったことがクリアできて子供たちがきちんと生活できれば、子供たちの大きな不安も結構減っていくと考えている。またその子供たちの声を聞いて進めていくと子供たちに言うので、その結果を見ながら、子供たちの希望ができるだけ通るように努力をしていく考えは変わっていない。

住 民 この新治に校舎を建てて、ここで統合して貰いたかったというのが本音である。仮称本納ニュータウンについて、市の当局は、どのように思っているのか。これから200戸、どんどん人が入ってきて子供の数も増えると思うが、地元やっぱり小学校があった方が良くと思う。仮称本納ニュータウンを市としてはどのように見ているのか。

佐久間次長 先ほど画面（資料を映した）で見ていただいたと思うが、お手元の資料の27ページをご覧いただきたい。本納ニュータウンは、3工区あり第1工区で34戸、第2工区で132戸、第3工区で95戸というような話を伺っている。教育委員会でも児童の推計を出ささせていただいたが、流動的ということ。それか

ら、全戸数に子供さんが入るのかといったことも考えられるので、見込みの数値としては、資料に載せてあるとおりを想定した。

住民 これだけのニュータウン、地元の小学校ということを考慮して進めていただきたかったと思う。これからでも遅くないと思う。宜しくお願ひしたい。

住民 私の意見だが、この間の3月に行われた第6回の審議会の議事録で思ったことは、審議会の中で、もうとにかく統合するのだという方向に全部向かっている。意見も全部。私の印象は、裏で相談しあって、公式の場であいうふうに行っていると思えない。もっと言わせてもらおうと、この場で、今日意見交換会を行っているということは、これはもう猿芝居である。皆さんはこの会を催して、住民の意見を聞いているということ、みんなに示しているだけの話である。何回かやって、私たちの意見が反映されたことが1回もない。それは、当事者は十分承知していると思う。私たちの意見なんか、ちっとも受け入れていないということが第1である。それは当初から言っている。

(資料) 17ページの下の方に委員という欄がある。学識経験者、自治会関係者、教育関係者、教育委員会が必要と認めるものとなっているが、お聞きしたいのは、学識経験者、自治会関係者が何人いるのか。

大橋室長 学識経験者は2名である。自治会関係者は3名である。

住民 12人だから、残り7人が教育関係者ということか。

大橋室長 教育関係者は5名で、その他教育委員会が必要と認める方が2名である。

住民 どのような人か。

大橋室長 所属団体の方が、茂原青年会議所代表の方、民生委員児童委員協議会代表の方である。

住民 この意見交換会が始まったころ、いちばん最初にメンバーをお聞きした覚えがある。そのころから比べると構成が少し変わってきているのかなと思う。その件についてはわかった。

この審議会の議事録を読ませてもらっている。この議事録の件で、お尋ねしたいことがある。今日のようなこの意見交換会の議事録が最初の2・3回しか出ていない。あと新治小学校でやったことは、1回もない。本納中学校でいちばん最初に説明会があったのは議事録として出ている。その時の皆さんの意見が、ちゃんと書かれていた。新治でも2回、去年一昨年5月に1回、今日で多分4回だと思うが、この間の議事録をどうして公開しないのか。要は私たちが言っていることを、世間みんなに知られたくないという考えがあるのかと見てしまう。思っている方は、何人かいるはずである。この小学校の保護者の方々は、賛成の方向に向かっていると聞いている。でも、私から言わせると、PTAの方々に、この意見交換会の中で配られた、(資料の)内容に載っている。どうしてやらなくちゃいけないとか、そういったことをPTAの方々に、不安を煽るって言ったら、語弊があるかもしれないが、こういうふうになったらこうなります、だから皆さんやみましょう的な

説明をしているとしか、私は思えない。なぜ、みんな集めて説明会をしないのかと、PTAだけなのだと。今日、審議会委員の方が2名いらっしやっているとのことだが、審議会の記録を読むと、豊岡については、賛成の手を上げない委員さんがいる。新治については、誰も、何にも言わない。とにかく、統合に向かって全力疾走している。要は地元との意見交換を頻繁にして、以前に私は勝浦の例を言ったと思うが、勝浦では7年8年もお互いがやりとりして、お互いが納得いって、合併になっているとそういう話をした。なんでそこまでちゃんとやってくれないのか、それが不思議である。だから、一つの反対の意見を言ってしまおう。私たちの意見、ちっとも取り入れないし、教育委員会が決めたことを審議会で諮って、答申として返している。諮問されたことを答申で返している。それで終わっている。私にしてみれば、市教育委員会から諮問が来たら、こういう会を催して、今こういう課題が出ていると、皆さんどう思われますか。それを聞いてから答申を出せばいいのではないかと。

市の方、教育委員会、或いは教育長あてに今の言葉全部投げかけた。今後は審議会と話し合っ、その返事をどこかに書いてほしい。ホームページで結構である。今日のことをちゃんと出してほしい。なぜ議事録として公開しないのか。私にとっては不思議ではない。みんな税金払って、同じことを知識として聞きたいと思う。

先ほど「乗り入れ授業」とあったが、この「乗り入れ授業」が全く理解できない。中学生の先生を、小学生の教室に向けて、これは中学生の教育をするのか。

金澤課長 「乗り入れ指導」について、資料にも載っているが、令和3年の4月から本納中学校で小中一貫教育の方が始まった。中学校の先生が小学校に指導に行っているわけだが、この「ねらい・効果」は、中学校の先生が普段、(小学校の)子供たちを教えていないわけで、小学校の子供たちにとってみると、中学校先生に別の観点からとか、専門的な知識も持っているの、そういったことで子供たちを教えることができる。

住 民 それは何年生ぐらいから始まるのか。

金澤課長 本当は全部の学年を対象にやりたいが、物理的にどうしても制限があるので、本納中学校区では、小学校5年生6年生を中心に計画をしている。

住 民 あと本納ニュータウンについて、資料に載っているニュータウンの人数。私の聞き及ぶところからすると、はるかに甘い数字である。どこからこれを聞いたのか。

大橋室長 こちらは業者の聞き取りの中で、当初想定されていた販売戸数を載せさせていただいた。

住 民 前に販売個数の0.43か0.42か。掛け算したのが人数だと聞いた。例えば240戸にしたって、かなりの人数になる。少子化で減ったのか。

大橋室長 こちらは(資料)は、年間あたり15棟、建売販売がされて、工期が分かれて

いるので、工期が重なったときに年間最大30棟販売されるという見込みである。販売された場合に、どれだけのお子さんがいるかということである。

住 民 販売の最終は2027年頃であるか。私がもらった資料は、2027年12月、150人近くの子供が増えると聞いている。これは、業者さんからいただいた。商業ベースでいっているので、いい加減なことは言わないと思うが。

大橋室長 業者からの事業計画では、当時が全体で256戸の販売想定があり、現在の計画では、全戸261戸である。そちらの方に、業者の方で示している児童に対する試算では、1戸当たり1世帯あたり0.45人の子供さんが付くというような計算である。すべての戸数が完売となった場合には、117人という児童になる形である。

住 民 新治と本納が合併しようとする令和5年の4月1日、令和8年4月1日までには、豊岡も一緒にしたいと。豊岡と一緒にできるのか。今の本納中学校に建てた本納小学校の新しい校舎に入る計画で、ニュータウンも人数が増えてくるわけで、それで本当に教室数が足りるのか。

大橋室長 (資料) 27ページを見ていただき、令和8年のところの欄を見ていただくと、ここには本納ニュータウン、そして豊岡小学校の見込みの児童数を入れ児童数を出しており、そこが270というのが小学校の計になっている。

住 民 豊岡は、今本納小より多いのに、こんなに減るのか。

大橋室長 こちらの数値は、その下の方に書いてあるが、住民基本台帳で今ある実数を基に出すと、このような数値となる。

住 民 いちばん最初に言ったように、なんでゆっくりと進んでくれない。地元を説得しなさいってことを言いたい。私らの知らないところで、どんどん事が進んでいる。

今日の議事録をちゃんと見せていただきたい。各地区の全部教えてほしい。要は自分たちが言っていることを茂原市のみんなに知ってほしい。

司 会 検討させていただきます。

住 民 資料を見ると、最終的に今の本納中学校の敷地内で、3校と中学校を合わせた小中一貫校ということで、現在の本納中学校の校舎、もうこれ50年、60年、経っている。当然、耐震はしているとは思いますが、いずれか早い時期にまた更新が必要となるのでは。建て替え等の時に、要望としてはもっと安全な場所にちゃんとした小中一貫校の施設を作っていただきたいという思いが一つある。

それから資料の31ページ。跡地利用の流れであるが、需要があるかないか市役所内で調査すると、どういった方法で調査するのか。

木島次長 跡地利用の調査方法は、内部で各所属各課の方に照会をかけ、行政需要があるかと、要は必要な事業に使えるようなものがあるかということで、聞き取りを行う。どんな使い方が想定されるか調査を行うので、ある程度の期間がかかる。もし何か使い道があれば、それを検討に入るとということである。利用する目的がなければ、外部の民間の方で需要を探していくということに

なる。

- 住 民 需要の調査は、市役所内の市職員で決めるということか。
- 木 島 次 長 職員という各課の立場で、どんな使い道が想定できるかということ聞き取る。
- 住 民 小学校は地域の核であり、特に新治地区の小学校は、災害が何年かあつて、避難場所とか避難施設とかになっている。そのほかいろいろな活用もされているので、そういう調査の中に地元の意見が入るようにしてほしい。そのような思いがあるが、いかがか。
- 木 島 次 長 その辺に関しましては、地元皆様のご意見もあると思う。実際に避難所としても活用させていただいているので、皆様のご意見も聞き取りながら検討して参りたい。
- 住 民 新治小学校、もし、統合が進んだ場合に、避難所として使うか使えないのか。この辺がまだはっきりしていない。もし、ここが避難所として使えなかったら、新治の人たちはどこへ避難したらいいのか。
- 続いて、今建設中の本納中学に建てようとしている小学校、周りは水浸し、JRの線路はすぐそばを走り、騒音はする。今度はガスまで出てきた。ガスが出るってことは、専門家の指導で強制排気するようだが、一昨年台風で私のところは3日間、隣の地区、大沢の方では6日間ぐらい停電になった。この強制排気する装置は、非常電源をもって、停電中でもずっと回っているのか。一般的にこういうガスが出る場所は、スイッチや照明に関して、防爆型の機器を取りつけるのが普通だと思うが、この非常電源とか、防爆型の機器とか検討はされたことがあるか。
- 新しい小学校を建てるときに、子供を預かって教育するのであれば、まず第一に、安全な場所を選ぶべきだと思う。それなのに、ガスは出る、水は出る。あんなところをなぜ選ぶのか。あそこは真っ先に、候補地から削除すべき場所である。私はこの小学校建設には、もうでき上がるかもしれないが、絶対に反対である。
- 中 村 部 長 現在、この新治小は避難所として指定をしているので、その機能はなくなった場合も残す。避難所の機能を残した上で、跡地利用を考えるとということが原則的な考え方になる。
- 佐久間次長 ガスが出たということで対応については、全教室には、ガス警報器を設置し、天然ガスが上に抜けるよう自然喚起をやるというような形でガス孔を設置し、安全対策を講じている。騒音の関係についても窓ガラス等を2重サッシにしている。9月1日から新しい本納小がスタートするわけだが、その前段で皆様の方にもご覧いただく内覧会等を考えている。
- 住 民 各教室にガス警報器を設置するといったが、これは警報がなった場合は、職員室かなんかでわかるように、そういうガス警報器なのか。それとも現場で、ピーピー音が鳴るだけか。
- 中 村 部 長 ガスの警報器については、まだその入れる機種が決定していないが、一般

的には、何段階かに分けて表示がされる。具体的には、最初は例えば点滅して、次は点灯して、ガスの濃度によって、ブザーが鳴って危険を知らせるようなそういうタイプになっている。仮に最初点灯して、すぐ危険な状況になることではないので、点灯したら、例えば窓を開けるとか、そういう対策をとれば、十分危険を回避できる。本納中のガスの濃度を測ったところ、非常に低い値で、教室からは検出されず、1階の地下の倉庫、配膳室の中で0.003%という値で、危険なのは5%から15%と言われているので、そういった面では地下には、ガスはあるけれども、校舎の中には出ていないというところである。

住 民 要するに、地下にガスはあると。鉄筋コンクリートでどンドン圧力かけ、それで地震でも起きて、コンクリートにひびが入ったときに、とんでもないガスが出てくる可能性もある。そういうことをちゃんと考えて、子供たちを守ってほしい。

住 民 先ほど避難場所として活用するということであったが、災害の時も、内容にして避難場所と避難施設、今新治小学校のグラウンドと体育館の両方を使っていると思うが、これ避難場所だけになると、雨のときなど非常に困ると思うが、跡地利用の活用のときに、避難場所と避難施設、どのように使い分けするか、その辺を一つ教えていただきたい。

中 村 部 長 西陵中の例をとると、貸し出しをしているのは校舎のみである。体育館については、必要に応じて申請を受け付ける。災害時については、市が最優先に体育館であるとか、校舎を使えるような契約を結んでいる。災害時に万が一の時があっても、協力体制は取れていると考えている。

住 民 先ほどのニュータウンの話で、戸数かける0.45という試算を伺ったが、そうすると117人になるのか。それが何で（資料では）49人になるのか。

大 橋 室 長 全部の戸数が261戸であり、全ての工程（3工期）が終了し、全ての宅地に家が建って、先ほどの係数を掛けると117人という数字になる。

実際には、全部の家が各工期終了時に一斉に建ち上がるのかとの話になるが、工程が早いところから、年間15棟ずつというケースで予測し、年間最大で30棟という考えで出した数値が、こちら（資料）の値になっている。

建売販売とのことであるので、年間15棟建つような見込みとしている。これは市の方で、以前（業者から）聞き取った内容から例えばという例で出させていただいた。

住 民 小規模校のデメリット、メリットをおっしゃっていたが、小規模校の方が学力が上がると言われてもいる。複式学級で、先生が一人一人に目が届くという利点は、非常に大きいのではないか。最初に統合ありきだったのでは、そんな気がしてならない。この新治地区は非常に自然環境が豊かで良いところ、そんな地域性に関して、例えば、小規模なりのメリットを出すために、特認制度があるそうだが、これについては検討されたのか。

金 澤 課 長 小規模校の良さということで資料の8ページにあるが、学習面で一人一人



に目が行き届く、子供たちもよく理解ができるのは確かにメリットとわかるが、逆に少ないことによってデメリットも多い。資料の9ページにあるが、そういったことを考え、市としては、ある程度一定規模の人数がいる中での学習環境が子供たちにとって望ましいとの考えをもとに、計画をしている。小規模特認校の話が出たが、確かに全国的にも小規模特認校の地域、学校はある。その学校においても大きな成果が上がっていることも確かであると思う。ただ、茂原市の場合は、学校再編の計画を立てた段階で、新治小学校のような学校について、特認校を用いるのではなくて学校再編をするという計画を立てた。市の方で作成した学校再編基本計画では、複式学級が存在する学校においては、基本的な方向として、速やかに統廃合するという計画で、この計画を立てるにあたっては、いろんな角度から検討し計画を立てた。

住 民 いろいろな角度は、特認校制度を考えたってことか。特認校は、非常に有効な制度でないか。

教 育 長 確かに特認校においても有効なメリットが多くあると思うが、市としてはそれよりも一定規模の学級数があり、切磋琢磨できるような、そういう一定の人数での学習環境が望ましいという判断をした。

住 民 特認校がなぜ統合になるのか。なぜ特認校よりいいのか。

教 育 長 どちらかが悪く、こちらが全て良いというわけではなく、それぞれいい面もあり、デメリットもあるわけで、市としては、特認校の方よりも、ある一定の規模の学校でというふうになった。

茂原市では特認校は適さないということ、その観点から説明すると、今の茂原市も含め一般的なのは、学区を定めて、この範囲に住んでいる方が、この学校に行くという学区制を採っている。小規模特認校は、その学区を取り払って茂原市中から通って来て良く、学校に入れるというのが一般的な特認校のやり方である。茂原市の場合は、先ほどの説明でも、子供たちの人数は、ピークのときから比べると、半分以下に減ってきている。新治小も、周りの学校も増えている学校はほとんどない。みんな減ってきている。そういう減っている学校から、来年からこっち来てくださいというようなことをやっていくと、長い目で見れば、小さい学校がいっぱい増えてしまうわけである。よって、ある程度の規模を確保するために、小さくても良いというスタンスには立っていない。ある程度の規模が必要だというスタンスで、学校再編を進めている。その中で特認校をやってしまうと、小さい学校がいっぱいできてしまう。茂原市の今の児童の減っている現状には、小規模特認校制度は適さないとしている。

住 民 子供たちの成長にとって、特認校制度は良い制度では。子供たちのことを考えるべき。

教 育 長 特認校制度は、茂原市には良い制度とは言えないと判断している。茂原市の子供が、ずっと減少してきている地域では、学区に関係なくうちの学校に来てください。うちの学校は、周りの学校から子供を取ることになるわけで

ある。それでは小さい学校がいっぱい増えてしまう。

住 民 　　なんで、小さいとダメなのか。特色ある教育ができるのではないか。一人一人に目が届いて。そういうのも最初に統合ありきでオミットしている。

教 育 長 　　学校再編は、ある程度の規模を確保するのが必要だということで、統廃合をしようとしている。ある程度の規模、先ほどメリットとデメリット等が出ていたが、そのところを勘案して、茂原市では、適正規模を定めている。

住 民 　　全く議論がかみ合わない。私はこの統合には断固として反対である。

住 民 　　今の特認校について、本納中学校で第1回の説明会があったときに、この話が出た。議事録に載っている。特認校っていう表現はしていないが、小規模特例校ってなんかそういった今のニュアンスと同じことを言っている。この言葉はその時に1回しか出てこない。その後新治小学校でやっても、あなたたちはそういうことを一切口外してこない。特認校は、なんで駄目なのかと言っているが、市の方針はこうなったから認めないというような返事に私は聞こえたが違うか。

教 育 長 　　市の方針が、こうなったからっていうことよりも、小規模校でも良いというスタンスなのか、ある程度の規模が必要とのスタンスなのかで、茂原市では適正規模を定めて、ある程度の規模は子供たちにとって必要だろうということ、学校再編基本計画で定め、茂原市教育委員会で定めたので、それに則ってやっている。そのまま小さい規模でも良いということと、やっぱりある程度の規模は必要だということでは、それは、意見はかみ合わないところがある。

住 民 　　なんで少人数ではいけないのか。小規模特認校はやってくれなかったのか。私たちにはその情報を一切くれなかった。いろいろなことを言われ踏ん切りがつくということもあると思う。それを一つでも隠されたら、聞いてないって話になる。何であなたたちは、そういうことを素人に事実を私たちに素人に教えてくれないのか。それが不思議でしょうがない。だから、これだけみんなが反発するような意見が出る。反発しているのではない。私らだって良い環境を作りたいって思っている。100%絶対的に反対しているのではないんだと。なんで必要なことを教えてくれないで、お互いが話し合わないのか。そこに問題がある。